

入れ歯で、 フツハツ歯!

実は、入れ歯使用者の約6割が
「入れ歯にしたことに満足」しています。入れ歯安定剤を
味方につけて、あなたも快適な入れ歯ライフを!

将来、「入れ歯」を使うようになったら……生活はどうなる? ちゃんと噛める? 食べられる? 落ちたりしない? 痛くないの? 等等、入れ歯への不安や疑問はなかなか口に出せず、他人には聞きにくいものです。そこでライオン株式会社(社長・濱 逸夫)は、60~70代の男女400名に入れ歯に関する不安・疑問についての実態調査をしました。

<調査概要> 表題: 入れ歯に関する実態調査 調査方法: インターネット調査
調査期間: 2011年9月23日(金)~25日(日) 対象者: 60代~70代の男女400名

調査結果から、見えてきました! 入れ歯ライフの実態。

調査から見えてきたデータと生の声を、入れ歯に詳しい坂梨歯科医院・院長の坂梨成次先生のお話を交えながら、ご紹介します。

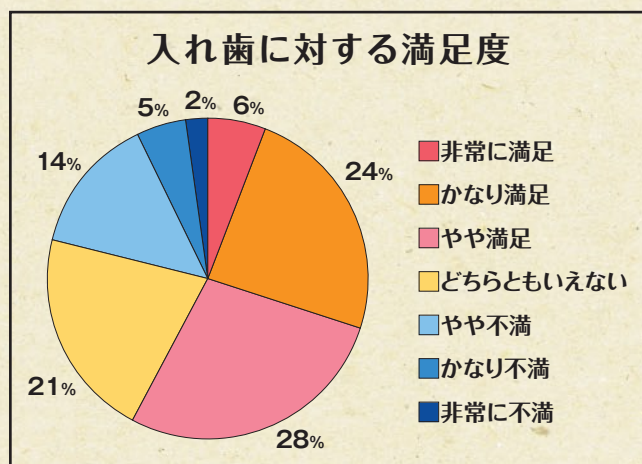


坂梨歯科医院・院長
坂梨成次先生

❗
考えていたより、「入れ歯」は快適!
入れ歯使用者の6割が満足している。

入れ歯への満足度については「しっかり噛めるようになった」「早く入れ歯にすればよかった」などポジティブな意見が多く、右図のように、「やや満足」~「非常に満足」が約6割も。また、入れ歯未経験者が感じている不安である、「きちんと噛めるか?」「痛みや違和感はないか?」などに対しては、52%が「固いものも気にせず食べられる」、72%が「痛みや違和感はない」と満足している様子が見えます。

また、入れ歯を初めて使用した時の感想をフリーアンサーで聞いたところ、「憂鬱になった」「嫌だった」などの声もある一方で、「よく噛めるようになった」「食べやすくなった」「歯槽膿漏から解放された」など、「入れ歯にして良かった」という感想が多く、「入れ歯」に満足している人が多いことが伺えます。



「入れ歯」には満足。でも、65%が「入れ歯と歯ぐきのすき間に物が入る!」

入れ歯に満足している一方で、65%の方が「歯と歯ぐきのすき間に物が入る」と回答しています。何故、そのようになるのでしょうか。

◆坂梨先生に原因と予防法を説明していただきました。◆

当院の患者さんの中でも、「入れ歯には満足しているといつつも、すき間に物が入ることが気になっている」という方が少なくありません。おそらく、皆さん、「入れ歯と歯ぐきのすき間に物が入るのは当たり前」と考えているのではないのでしょうか。当たり前ではなく、原因があるのです。物が入るのは、入れ歯の辺縁(端部分)が歯ぐきに密着していない、入れ歯の噛み合わせが悪くガタガタする、歯ぐき(顎堤)がやせる、などが考えられます。対策としてすき間を埋めればいわけですから、すき間に物が入る、という患者さんには、入れ歯安定剤の使用を勧めています。但し、自分の入れ歯の状態に合った安定剤を選ぶことが重要です。ふさわしい安定剤を選んで使用すれば、すき間に物が入るのを減らすことが出来ます。それでも違和感を感じる場合は、出来るだけ早く歯科医師に相談してください。

すき間を埋めること!



現使用者も最初は不安を感じていた! 不安の1位は、「きちんと噛むことができるか」45% 2位は「痛みや違和感がないか」34%

初めて入れ歯をする前に心配だったことは「きちんと噛むことができるか」などが目立ちました。また、入れ歯に関する情報の入手先については56%が「歯科医師」、33%が「特にない」と回答しています。

◆来院される患者さんは、どのようなお悩みが多いのか坂梨先生にお聞きしました。◆

調査結果と同じように患者さんからは「きちんと噛むことができるのか」という不安を多く聞きます。さらに「食べること」だけでなく、「きちんと話せるだろうか」「笑うことが出来るだろうか」という「話すこと」に関する不安も多く聞きます。「出来れば入れ歯は避けたい」という声が多いのも事実です。不安を感じる人の多くは入れ歯について相談することが恥ずかしい、相談する相手がない、等の情報不足が不安の原因になっているのでは。1人であれこれ悩むより、不安や心配があったら、歯科医師への相談をお勧めします。



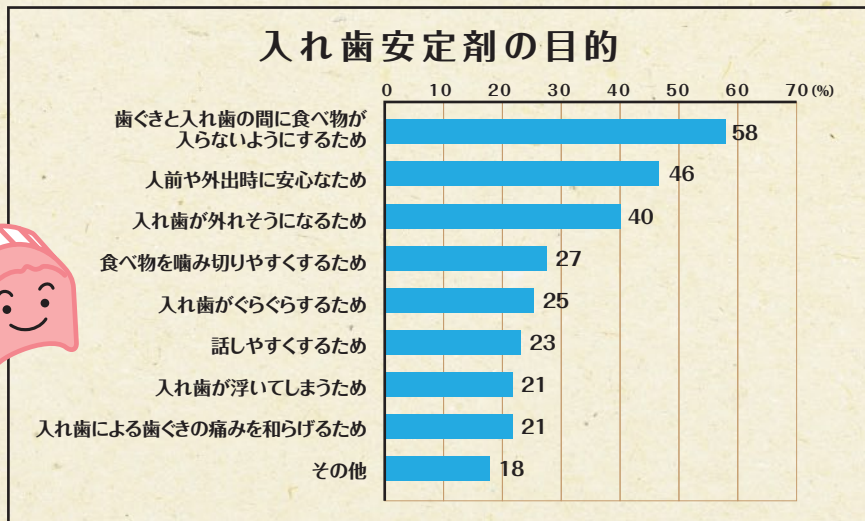
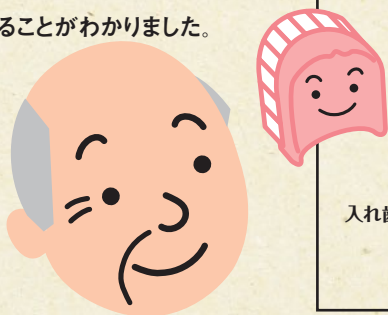
悩むより相談!

初めて「入れ歯」をする前に心配だったこと



！
入れ歯安定剤の使用目的はいろいろ!
「すき間に物が入らないようにするため」58%
「人前や外出時に安心なため」46%

入れ歯安定剤を使用する目的は「すき間に物が入らないように」の58%をはじめ、「人前や外出時に安心なため」の46%など、右のグラフのように入れ歯を快適に使用すると同時に、外れてしまうのを予防する目的のためにも使用されていることがわかりました。



！
入れ歯安定剤、ココが不満!「違和感がある」13%
「口の中がネバついて気持ちが悪い」11%
「しっかりくっつかない」8%

入れ歯を快適にするのが入れ歯安定剤ですが、違和感やネバつき、くっつきが悪いなどの理由から使用を中止したという回答もありました。

◆坂梨先生に入れ歯安定剤の選び方のポイントを教えていただきましょう!◆

一口に入れ歯安定剤といってもいろいろなタイプがあります。自分の入れ歯の種類、歯ぐきの状態に合わないものを使用すると、不具合・違和感を感じたり、歯ぐきがさらに痩せたり、かみ合わせが悪くなる場合があります。ポイントは自分の状態に合った入れ歯安定剤を選ぶことです!入れ歯と歯ぐきのすき間が少ない人は、薄くついて違和感の少ない粉末タイプがおすすめです。また天然成分が使われている商品もあり、口の中がべたつきにくいという特徴を持つものもあります。さらに入れ歯と歯ぐきのすき間が大きくなってきた人は、粘着性の強いクリームタイプや、やわらかいゴム状の材質ですき間を埋めて吸着させるクッションタイプなどが適しています。現在は満足している方も、こうした情報を知って入れ歯を使えば、不具合をより少なく毎日快適に過せるのではないのでしょうか。

入れ歯安定剤
 選びが
 ポイント!



快適な入れ歯ライフのために大切なこと!

- 1 不安、不具合は正しい情報をきちんとキャッチして、解消すること。
- 2 自分の入れ歯と歯ぐきの状態に合った入れ歯安定剤を選ぶこと。
- 3 1人で悩まないで歯科医師に相談すること。

読めば、不安が解消! 知れば、満足度アップ!

入れ歯についての 豆知識ノート

◆入れ歯安定剤の種類と選び方

入れ歯の状態に合わせて
ピッタリの安定剤を選びましょう!

すき間が少ない ▶ ← すき間が大きい

なじまない ゆるむ 小さな食べ物がはさまって痛い がたつく はずれやすい

入れ歯を 作りたて で見られる症状 1~2年 で見られる症状 3~5年 で見られる症状

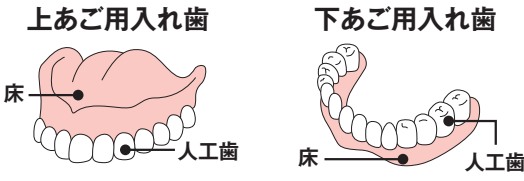
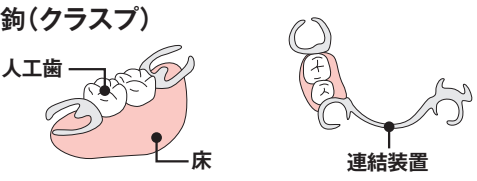


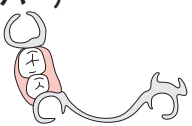
粉末タイプ プラスチック床・金属床用

クリームタイプ プラスチック床・金属床用

シートタイプ プラスチック床・金属床用

クッションタイプ プラスチック床用

◆入れ歯の種類と仕組み

	総入れ歯	部分入れ歯
部位の名称	<p>上あご用入れ歯 下あご用入れ歯</p> 	<p>鉤(クラスプ) 人工歯 床 連結装置</p> 
使い方	歯ぐき に 床を吸着させて使用します。	歯ぐき にか ぶせた床と残っている歯 に かけた鉤で支えて使用します。
床などの材質	<p>・レジン床 プラスチック製で、強度を保つために床の部分に厚みがある。</p>  <p>・金属床 強度があり、薄く作れる金属を使用。レジン床より違和感が少ない。</p> 	<p>床 ・レジン床 ・金属床</p> <p>鉤(クラスプ)、連結装置(バー) 歯科材料で主に使われている金属(金銀パラジウム合金や歯科用ステンレス等)を使用。</p> 
歯	<p>・レジン歯(プラスチック) 比較的やわらかく、長年の間にすり減る</p> <p>・硬質レジン歯(プラスチック) 適度に硬く、審美的にも優れている(現在では主流)</p>	<p>・陶歯(セラミック) 自然の歯に近い硬さで審美的にも優れている。</p>

ライオン株式会社

<報道関係の方> お問い合わせ窓口 コーポレートコミュニケーションセンター 03-3621-6661